令和4年度シラバス(地理歴史) 学番中等3 新潟県立燕中等教育学校						
教科(科目)	地理歴史(地理B)	単位数	2単位	学年(コース)	5学年(自然科学コース)	
使用教科書	帝国書院『新詳地理B』帝国書院『新詳高等地図』					
副教材等	帝国書院『新詳地理資料 COMPLETE』、東京法令出版『ニューコンパスノート地理』、					
	二宮書店『データブック・オブ・ザ・ワールド』					

# 1 学習目標

現代社会の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

# 2 指導の重点

- ①身近な地域や自分自身の生活と関連付け、世界の諸地域の地理的事象について、意欲的に追究する。
- ②現代世界の諸課題について、系統地理的・地誌的に考察することができる。
- ③地図や統計などの資料を自ら分析し、現代世界の地理的事象について読み取ることができる。
- ④現代世界の国や地域及びそれらの関係性などについての基本事項を理解している。

## 3 学習計画

月		単元名		学習活動(指導内容)		評価方法
4	1 章	1節	地図の発達	・現代世界の地図について、どのような技術を利用してつくら		定期テスト
	章	1 96 (15) 10 210 21		れているかをとらえる。		週末課題
	塩			・地図の有用性に気づくとともに、時代背景や地図の中心の違		
擇				いなどによって世界観が変化することについて考察する。		
	報	2節	地図の種類とその利用	・球体としての地球の特徴をとらえる。	3	定期テスト
	地理情報     2 世界観の変化と地図       2 世界観の変化と地図       2 世界観の変化と地図       1 地球上の位置       2 時差の求め方		地球上の位置	緯度・経度の違いによって時差や気候に違いが生じるメカニズ		週末課題
			時差の求め方	ムを考察する。		
		3 地球儀とさまざまな地図		・球体を平面に表現した地図の種類、利用について考察し、現		
				代世界の地理的事象をとらえる地理的技能を身につける。		
		3節	地理情報の地図化	・情報の地図化や読み取りなどの活動を通して、地図の有用性	1	定期テスト
				を理解する。		週末課題
				・地理情報を地図上に表現する際の効果的な表現方法を考察		
				する。		
	<u>2</u>	1節	地図の活用	・地図の活用と地域調査について、直接的に調査できる地域を	2	定期テスト
	數	2節	身近な地域の調査	地形図などの地図を活用して多面的・多角的に調査する。		週末課題
	地図の活用と地域調査			・生活圏の地域的特色をとらえる地理的技能を身につける。		
5	1	1節	世界の地形	・世界の地形について、大地形、小地形、そのほかの地形の	11	定期テスト
	1 章	1	地形の成因	分布や特徴、成因について考察する。		週末課題
	息	2	地球規模の大地形	・災害や土地利用など人間生活とのかかわりを考察する。		
6	環	自然     2 地球規模の大地形       3 河川と海岸の小地形       4 そのほかの特徴的な地形				
	境					
7		2節	世界の気候	・世界の気候について、地域ごとの違いとその要因について	11	定期テスト
		1	気候の成り立ち	理解を深める。		夏課題テスト
8		2	世界の気候区分	・気候区ごとの特徴や人間生活との関係を考察する。		週末課題
O		3	気候と植生・土壌	・地球規模での気候変動と人々への影響を考察する。		
		4	変化する気候			
9		3節 日本の自然の特徴と人々の生活 ・日本の自然の特徴と人々の生活につ		・日本の自然の特徴と人々の生活について、地形や気候の特	3	定期テスト
		1	日本の地形	徴と、これによる自然災害の特徴を理解する。		週末課題
		2	日本の気候	・土地開発の状況などもふまえて防災のあり方を考察する。		
		3	開発に伴う災害と防災			

10		4節	環境問題	・世界の環境問題について、その背景や原因、影響、対策を	5	定期テスト
		1	世界の環境問題	多面的に考察する。		週末課題
		2	さまざまな環境問題	・日本国内の環境問題について発生した背景や問題解決への		
		3	日本の環境問題	取り組みを考察する。		
	2 章	1節	世界の農林水産業	・世界の農林水産業について、自然条件や社会条件と関連づ	8	定期テスト
	章	1	農業の発達と分布	けて農業の地域区分をとらえる。		週末課題
	楶	2	農業の地域区分	・現代世界の農林水産業の現状と課題を考察する。		
11	資源と産業	3	現代世界の農業の現状と課題	・世界のなかでの日本の農林水産業の課題を考察する。		
	蒦	4	世界の林業・水産業			
	未	5	日本の農林水産業			
		2節	食料問題	・食料問題について、世界の食料需給の地域的なかたよりをと	5	定期テスト
		1	世界の食料問題	らえる。		週末課題
		2	発展途上国の食料問題	・発展途上国と先進国の問題事例を考察する。		
		3	先進国の食料問題	・日本が抱える食料問題を考察する。		
		4	日本の食料問題			
12		3節	世界のエネルギー・鉱産資源	・世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの種類や	5	定期テスト
		1	エネルギー資源の種類と利用	分布、利用の現状や方法を考察する。		週末課題
		2	化石燃料の分布と利用			
		3	電力の利用			
		4	鉱産資源の種類と利用			
1		4 箭	資源・エネルギー問題	・資源・エネルギー問題について、世界と日本の資源・エネル	_ '	定期テスト
		- 17/14	更你 ————————————————————————————————————	・買派・エイルイー同題について、世界と日本の買派・エイル	5	圧朔ノヘト
			現代世界の資源・エネルギー問題	・資源・エイルイー问题について、世界と日本の資源・エイルドギー問題の概要をとらえる。	5	週末課題
		1		7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7	5	·
		1 2	現代世界の資源・エネルギー問題	ギー問題の概要をとらえる。	5	·
2		1 2 3	現代世界の資源・エネルギー問題 さまざまな資源・エネルギー問題	ギー問題の概要をとらえる。 ・問題の原因や近年の動向、問題解決の取組みを考察する。	10	·
2		1 2 3 <b>5節</b>	現代世界の資源・エネルギー問題 さまざまな資源・エネルギー問題 日本の資源・エネルギー問題	ギー問題の概要をとらえる。 ・問題の原因や近年の動向、問題解決の取組みを考察する。 ・日本が抱える資源・エネルギー問題を考察する。		週末課題
2		1 2 3 <b>5節</b>	現代世界の資源・エネルギー問題 さまざまな資源・エネルギー問題 日本の資源・エネルギー問題 世界の工業	ギー問題の概要をとらえる。 ・問題の原因や近年の動向、問題解決の取組みを考察する。 ・日本が抱える資源・エネルギー問題を考察する。 ・世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその		週末課題定期テスト
2		1 2 3 <b>5節</b> 1 2	現代世界の資源・エネルギー問題 さまざまな資源・エネルギー問題 日本の資源・エネルギー問題 世界の工業 工業の発達と種類	ギー問題の概要をとらえる。 ・問題の原因や近年の動向、問題解決の取組みを考察する。 ・日本が抱える資源・エネルギー問題を考察する。 ・世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題を考察する。		週末課題 定期テスト 春課題テスト
2 3		1 2 3 <b>5節</b> 1 2 3	現代世界の資源・エネルギー問題 さまざまな資源・エネルギー問題 日本の資源・エネルギー問題 世界の工業 工業の発達と種類 工業の立地とその変化	ギー問題の概要をとらえる。 ・問題の原因や近年の動向、問題解決の取組みを考察する。 ・日本が抱える資源・エネルギー問題を考察する。 ・世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題を考察する。		週末課題 定期テスト 春課題テスト

計70時間 (50分授業)

### 4 課題・提出物等

- ・週末課題として、その週に学習した内容を「ニューコンパスノート地理」や白地図ワーク等で復習。課題ノート に行い、週明けに提出。
- ・夏休み課題、冬休み課題は別途指示します(ニューコンパスノート、白地図ワークなど)。

## 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。							
(関心・意欲・態度)	(思考·判断·	(知識・理解)					
関心·意欲·態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解				
地理的事象に対する関心と課題意 識を高め、それらを自分自身の生活 とも結びつけることによって、意欲 的に追及することができる。	現代世界の諸課題について、系統 地理的に考察する、または、歴史的 背景を踏まえて地誌的な考察をする ことによって、その過程や現状につ いて適切に表現することができる。	地理学習に必要とされる諸資料を 収集し、その中から的確に情報を取 捨選択して、読み取ったり図表など にまとめたりすることができる。	地理的諸事象についての基本事項 や追及する方法を理解することがで きる。				

- 以上の観点を踏まえ、 ・週末課題、夏休み課題、冬休み課題の取組・提出状況・定期考査と課題考査 などから、
- などから、総合的に評価します。

#### 担当者からの一言

「地理」は、視野を広げ、様々な事柄に興味を持つことが大切です。また、現代の諸課題について、単に事実を 知るに留まらず、自分の意見をまとめ、それを表現することが求められます。

受験を見据え、地理の内容を、「覚える」だけでなく、しくみや理由、つながりなどをできるだけ早く「理解」し (担当:長岡 大) ましょう。わかれば楽しい科目ですよ!